# さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

## 民間初 種子栽培イチゴ開発

北杜市小淵沢町上笹尾に生産拠点があり、花や野菜の種苗に関する研究開発、販売を手掛けるミヨシグループ（本社・東京）は、種子から栽培できるイチゴを開発しました。同社によると、国内の民間企業では初めて。イチゴは親株のつるを切り取って栽培する方法が一般的ですが、種子栽培は苗を育てる期間が短縮でき、生産性向上が図れるといいます。年内に国内外への販売を予定しています。製品化したのは独自に手掛けた2品種と、三重県と共同開発した1品種。約7年かけて製品化にこぎ着けました。開発したイチゴの表面からは約100粒の種子を取り出すことができるそうです。

開発した種子から育てたイチゴ。ビニールハウス内で状態を調査しています　＝北杜市小淵沢町上笹尾

（2021 年 1 月 28 日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと 10 面）

**問1** イチゴの栽培は、これまでどんな方法が一般的でしたか。

---

**問2** ミヨシグループが開発した、種子から栽培する方法の特長（良い点）を 2 つ挙げてください。

①「　　」　②「　　」

**問3** あなたが一番好きなイチゴのスイーツの名前と、その理由は。

「好きなイチゴスイーツ」 ----------

「好きな理由」 ----------

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.